

おがまち日奈久ニュース

日奈久温泉スプリングフェスタ
(櫛山桜ウォーク)



今年もやります！日奈久温泉スプリングフェスタ(櫛山桜ウォーク)。日奈久の春を満喫しましょう。

主催 同実行委員会

日奈久住民自治会

◆期日 3月23日(日)

◆受付 ばんべい湯前

8時30分受付

◆参加費 一般1000円

中学生以下500円

(入浴券・抽選券・ちくわ焼き券付き)

※弁当・飲み物は、各自でご持参ください。(雨天中止)

◆日程

9時00分 開会式

9時30分 ウォーキングスタート

11時00分 昼食 宝探し(櫛山)

12時00分 下山 下山後

順次抽選会・ちくわ焼き体験

(イベント広場)

※弁当・飲み物は、各自でご持参ください。(雨天中止)

「健康についての研修会」を開催します

主催：日奈久住民自治会

主管：福祉健康人権部会

次のような日程で、「健康についての研修会」を開催します。健康で長生きはみんなの願いです。自分や家族の健康を見つめる良い機会となることでしょうか。この機会に健康に関する知識を深め、日々の健康に活かしていきましょう。多数のご来場をお待ちしています。

◆日時 3月4日(火)

午前10時から

◆会場 日奈久ゆめ倉庫

◆演題 「健康に過ごすには」

◆講師

八代市第6地域包括支援センター
看護師 溝下 勢津子 氏

六郎神社

「日奈久温泉 発見感謝祭」

3月30日(日)午前10時から、温泉神社にて神事が行われます。

旅館や温泉施設から竹筒に入れたお湯を持ち寄り、温泉発見の「お告げの石」にお湯をかけてお清めし、感謝の気持ちを表します。

日奈久温泉は、応永16年(1409)、浜田六郎左衛門が父の刀傷を癒やそうと神に祈ったところ、夢でお告げがあり、温泉が湧き出たと伝えられています。

なお、3月22日(土)午前9時から、温泉神社境内及び周辺の清掃作業を行います。都合がつかれる方は、是非ご協力をお願いします。草取り、清掃等の用具をご持参ください。(請前 中町)

令和7年3月号
(第187号)
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
(1月末現在)
男 1,016人
女 1,231人
計 2,247人
(前月比-12人)
(2009年末3,444人)

新しいベンチが出来た！

日奈久住民自治会は、「木を活かした景観づくり」事業に応募し、選定され12個のベンチを作製しました。「木を活かした景観づくり」は、県産木材を使用した物を配置し、景観をより良いものにしていくことです。今回は、六郎の湯広場(ばんべい湯前)に7台、このの広場に5台設置されました。新しい木の輝きがとても綺麗です。皆さんも一度座ってみてください。



熊本県木材協会連合会から補助金を受けて作製、設置したベンチ

「ありがとう」が
行き交うまち 日奈久

身近な人に「ありがとう」
愛する日奈久に「ありがとう」
訪れる人に「ありがとう」

九州国際スリーデーマーチ

第30回記念大会(八代亜紀さんありがとう)九州国際スリーデーマーチ2025が開催され、3月2日(日)には、日奈久温泉コース(30km)で多くの人が日奈久を訪れます。

参加者に笑顔を届けようと、日奈久ゆめ倉庫において、婦人会のメンバーが日奈久名物ちぎり天を振る舞い、接待することになっています。

今年の大会テーマは、「春の彩りとともに歩む記念の時」です。ゴリケンとちくわンも来場する予定です。多くの人が町中をウォーキングされると思います。婦人会員だけでなく、みんなで明るい挨拶と笑顔でお迎えしたいものです。



めぐる
たべる
つかる

ONSEN・ガストロノミーウォーキングとは、日本の魅力ある温泉地を拠点にして、その地域特有の「食」、「自然」、「文化・歴史」すべてをウォーキングによって一度に「体感」出来る新たなツーリズムです。

今年は日奈久温泉の「春」を楽しんでもらおうと開催時期が変更されました。

◆日時 3月30日(日)

午前9時〜午後3時

◆受付 午前8時30分

日奈久ドライブランド「シー・湯・遊」(野外ステージ付近)

◆参加費 4000円

料理、ドリンク、温泉券付き

◆参加資格

7・5km程度の距離を歩ける人

「めぐる」「たべる」「つかる」をテーマに、日奈久温泉街を満喫。

食を楽しむ「ガストロノミーポイント」が各所設置されており、地元の特産品や農産・海産物に地酒などで、地域住民や各施設がおもてなしを行います。

満員御礼！定員125人に達しました。(1月28日時点)



住民自治会
運営委員会から

3月の行事から

1日(土)ふれあい祭
ひなぐ雛祭り
2日(日)九州スリーデーマーチ
7日(金)日奈久中学校卒業式
16日(日)チャリティーカラオケ
20日(木)春分の日
23日(日)櫛山桜ウォーク
24日(月)日奈久小学校卒業式
30日(日)日奈久温泉発見感謝祭
ONSEN・ガストロノミーウォーキング

〈会議等〉
13日(木)市政協力員例会
17日(月)運営委員会
21日(金)広報部会

日奈久歴史散歩

日奈久温泉から
百済来地蔵堂へ、

寄稿

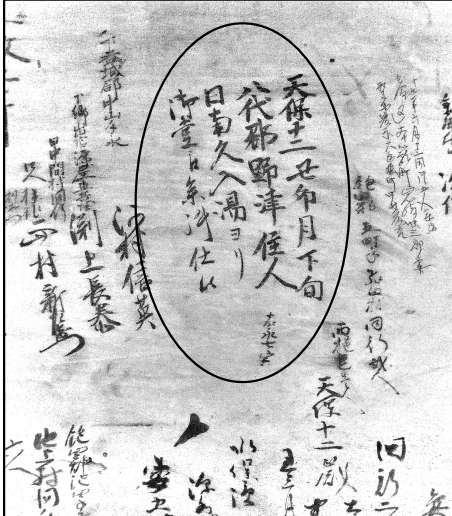
参詣の旅文化

八代市立博物館未来の森ミュージアム

学芸員 石原 浩

江戸時代の庶民の旅といえど、「伊勢詣」など寺社参詣が中心で、その前後に観光名所を巡るというのが定番だった。日本人の旅好きは、寺社参詣にルーツがあるようだ。

実は我々の身近なところにも参詣と観光がセットになった旅の実例がある。日羅伝説で知られる百済来地蔵堂(八代市坂本町百済来下)への参詣である。当堂の壁面は参詣者が書き残した墨書で埋め尽くされている。注目すべきは「天保十二(一八四一)、日奈久入湯ヨリ御堂へ参拝仕候」という墨書。これは参詣者が日奈久に立ち寄った証である。ここは、百済来地蔵堂参詣の拠点として、肥後はもとより西日本各地からの参詣者で賑わった。かつて日奈久と百済来(久多良木)は韋北郡に属する文化圏、経済交流も盛んだった。八代焼窯元の上野氏によると、百済来の豪商が日奈久に建てた温泉旅館が何軒もあったという。また百済来と縁のあるひらやホテルの女将さんは「昔は子供を連れて日奈久から百済来まで三時間かけて歩いた」と語ってくれた。両地の密接な関係から、日奈久温泉に関わる商人が「百済来地蔵堂」参詣を推奨、積極的な観光客誘致を図った可能性も想像に難くない。観光産業の先駆けとして注目すべき事例ではなからうか。



日奈久入湯の記述がある板壁の墨書

今年で16回を迎える「ひなぐ雛祭り」が、2月8日（土）～3月3日（月）までの日程でスタートしました。これに合わせて、婦人会の会員によるくまモン雛の飾り付けが行われました。各旅館や施設には、雛飾りが展示され、日奈久の街は春の装いとなっています。写真のようなくまモン雛や雛飾りを探してみましよう。この機会に春の日奈久の街をゆっくり散策してみませんか。



福祉会コーナー

ひなぐ雛祭りに参加

塩南町いきいきサロン

塩南町いきいきサロンは毎月第3水曜日午前10時から日奈久コミュニティセンターで開催しています。

時期に応じて造花や折り紙、花見屋食、グラウンドゴルフ、脳トレゲームなど。たまには映画も見ます。最近では花札を楽しんでいます。

2月は紙を使って大きな桃の花をみんなで作りました。ひなぐ雛祭りの竹灯りイベントに参加して、今年で3回目です。花の中に灯りをとせば、桃や赤、白の美しい灯りが暗がりを照らし魅力的です。夜のひなぐ雛祭りで桃の花灯りをぜひご覧ください。



昨年の美しい桃の花灯り



手作りの花を持つ参加者の皆さん

雪にも負けず

グラウンドゴルフ大会開催

主 旨 日奈久スポーツ協会

2月5日（水）日奈久ドリームランド「シー・湯・遊」において、グラウンドゴルフ大会が開催されました。13人の参加でした。開会式で協賛いただいた日奈久郵便局渡邊誠一局長から挨拶があり、その後競技が始まりました。



渡邊郵便局長の挨拶

時折、横殴りの雪が降ってきましたが、それでも楽しくプレイできました。2ラウンドの競技終了後は、ホールインワンゲームを行いました。結果は以下の通りです。1位木村則生、2位久保親弘、3位西村一夫、4位桜田ミヤ子、5位小松静子、6位北園アキエ、ホール

自らの「啓発録」を発表
日奈久中学校で立志式

2月7日（金）、日奈久中学校では、恒例の2年生の立志式が開催されました。今年は、幕末の思想家橋本左内が、数え15歳の時に記した「啓発録」に学び、「自分の目標を達成するために、自分に足りないものは何か、弱点は何か、そのためにどう改善したら良いか」を考え、一人ずつ発表しました。「あきらめずにやり遂げる」「集中力を高める」「相手のことを考える」「勉強量を増やす」等が出されました。次に、家族に手紙を渡しました。手紙には感謝の言葉や今後のことが書いてありました。そして、みんなの思いをミセスクリーンアップルの「ケセラセラ」という歌に込めて元気に歌いました。最後に保護者からの激励の言葉がありました。「歌や啓発録を聞かせていただき、感動しました。小学生の時から年々成長が見られ、とても頼もしく思っています。」



自分の啓発録を発表する生徒

ます。立志とは、将来の目的を定め、それを成し遂げることです。将来の夢に向けて見守っていききたいと思います。皆さんの味方は、保護者であり皆さんです。自信を持って大人になるべき一歩一歩力強く先に進んでほしいと思います。これからも頑張ってください」とエールが送られました。その言葉を身動きせずじっと見つめる12人（1人欠席）の生徒の姿が、とても頼もしく見えました。



家族への手紙を渡す



最後に参加者全員で写真撮影

インワン木村則生（敬称略）。閉会式後、帰路につこうとしたら、すでに「シー・湯・遊」は一面の銀世界でした。参加した皆様、寒い中大変お疲れ様でした。



ホールインワンゲームを行う参加者

歓迎「ちくワン」

宮地のどんとやで活躍

1月12日（日）宮地校区でどんとやが行われました。ちくワンも招待されて参加しました。宮地校区の有志が、ちくワンの絵を描いて、どんとや当日に砥崎の河原に掲示されました。ちく



どんとやでのちくワン(上)
ちくワンの絵を描いて歓迎(左)

ワンとのじゃんけんゲームで宮地のどんとやは、大いに盛り上がりました。ちくワンの活躍は、「まちづくり協議会みやじ」に掲載されました。ちくワンは、宮地校区以外の校区のどんとやにも参加し、大人気でした。

